

若狭町 議会だより



9月15日 若フェス「丸木舟競漕(中学生)」



若フェスオープニング

もくじ

平成30年度決算	……………P 2～P 5
令和元年度9月補正予算	……………P 6
常任委員会報告	……………P 7～P 8
議員賛否一覧	……………P 9
一般質問・12月定例会の日程	……………P10～P11
議会の動き・編集後記	……………P12

実質公債費比率 15.3%
公債費による財政負担の程度を示す数値 前年度対比 0%
経常収支比率 88.9%
財政の硬直化を示す数値 前年度対比 0.9% 減

平成30年度 決算を認定

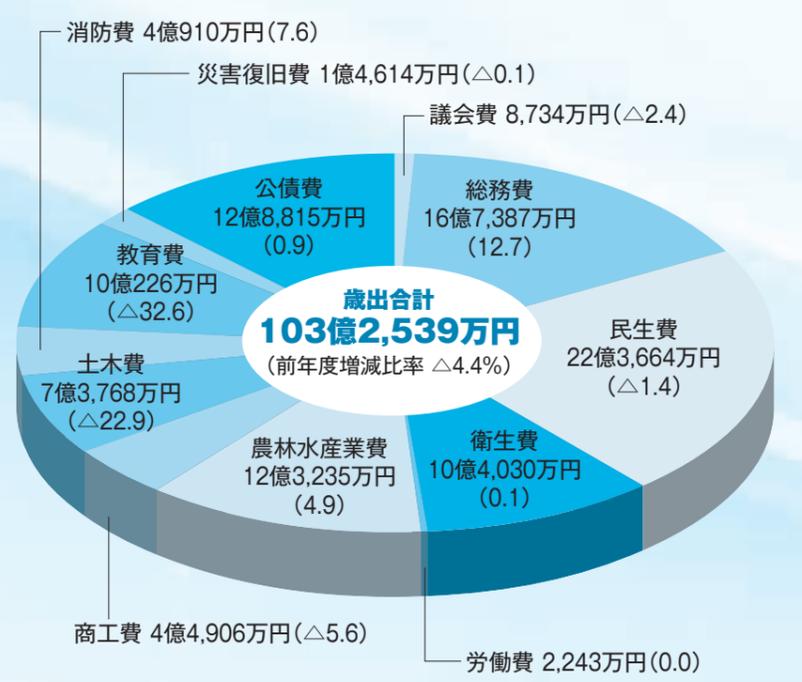
9月定例会 8月30日(金)~ 9月24日(火)
歳入 自主財源 35.0% 依存財源 65.0%

一般会計 歳出総額 103億2,539万円

平成30年度 主要事業

総務費
◇ふるさと納税推進事業 1億6,166万円 (ふるさと納税の経費、ふるさと応援基金への積立)
民生費
◇子ども医療費助成事業 4,516万円 (中学校卒業まで医療費を助成、窓口無料化を実施)
衛生費
◇清掃総務費 3億610万円 (一般廃棄物処理や不法投棄回収処理の業務委託など)
農林水産業費
◇定置漁業振興対策事業 6,666万円 (定置網の改良や機械整備を行い、漁獲量増加を図った)
商工費
◇企業誘致促進事業 2億7,533万円 (企業4社に振興補助金を交付し、企業振興を図った)
土木費
◇町道倉見井崎線改良事業 1,537万円 (国道27号線交差点改良に伴う、測量調査と用地購入)
消防費
◇消防事業費 4億910万円 (敦賀美方消防組合、若狭消防組合への負担金など)
教育費
◇上中中学校改修事業 2億1,072万円 (校舎の大規模リフレッシュ工事)
災害復旧費
◇林業施設災害復旧費(補助)(繰越分) 6,612万円 (平成29年の台風21号による林道6箇所の復旧工事)

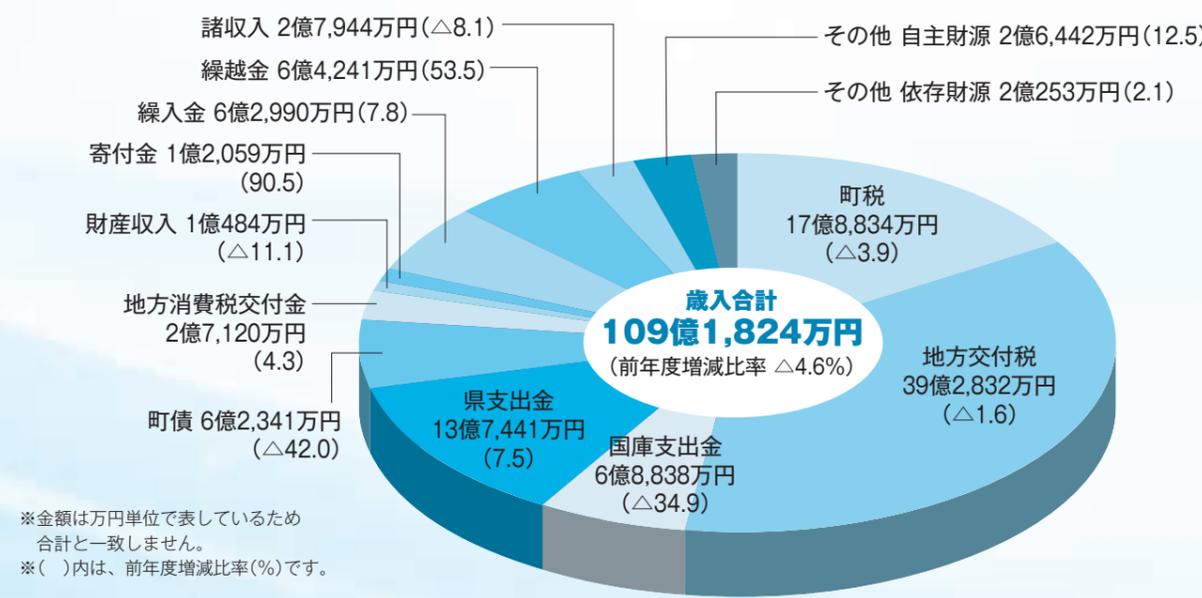
私たちの税金は どう使われたのか？



支出は 町民一人当たり **約70万円**
(前年度対比 1万円減)

一世帯当たり **約207万円**
(前年度対比 9万円減)

※平成31年3月31日時点の人口、世帯数で計算



特別会計・企業会計

特別会計名	歳入	歳出	特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	18億4,552万円	18億2,395万円	農業集落排水処理事業	4億169万円	4億20万円
後期高齢者医療	1億9,257万円	1億9,234万円	漁業集落排水処理事業	4,758万円	4,749万円
直営診療所	8,740万円	8,445万円	公共下水道事業	5億2,614万円	5億2,517万円
介護保険	19億3,000万円	18億6,372万円	町営住宅等	4,315万円	3,579万円
簡易水道事業	1億8,717万円	1億5,234万円	土地開発事業	7,124万円	6,140万円
農業者労働災害共済事業	165万円	131万円			

企業会計名	区分	収入	支出	差引
水道事業	収益的	1億7,192万円	1億7,629万円	△437万円
	資本的	2億868万円	2億9,898万円	△9,030万円
工業用水道事業	収益的	2,491万円	3,388万円	△897万円
	資本的	3,219万円	3,219万円	0
上中診療所事業	収益的	4億6,900万円	5億6,520万円	△9,620万円
	資本的	2億787万円	2億2,443万円	△1,656万円

平成30年度決算審査

認定第1号「平成30年度若狭町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定」については、賛成多数で認定すべきものと決定。認定第2号「平成30年度若狭町水道事業会計、若狭町工業用水道事業会計及び若狭町国民健康保険上中診療所事業会計決算の認定」については委員全員の賛成で認定すべきものと決定。

主な質疑事項

〔一般会計〕

▼総務課関連

問 財産に関して、大鳥羽の教職員寮があった土地を売却する予定はないのか。現在、更地になっているが売却する計画はない。どのように活用するかは、検討したい。

問 健全化判断比率を平成29年度決算と比較すると、ほぼ横ばいである。全体的に平成30年度決算を行政としてどのように評価しているのか。

答 決算は、予算執行後の結果であり、予算編成の段階でどのように予算を組み立てるかが重要である。平成30年度は、予算編成と行財政改革のスタートが同時期だったため、目標数値についてもランに沿って予算を執行している。

教職員寮跡地

▼政策推進課関連

問 デマンド運行事業の運賃収入は。
答 331万8千円の運賃収入で、国や県の補助金もあるが経営的にはギリギリのライン。平成30年度に運賃の見直しをしたが、乗り合い率は向上している。今後は、登録者数と利用者数の増加を図り、収益が上がる取り組みを進めたい。

▼観光未来創造課関連

問 道の駅管理事業の管理料は。
答 道の駅「三方五湖」が838万4千円、道の駅「若狭熊川宿」が574万7千円。共通経費として、全国道の駅連絡会への負担金等が40万1千円。
問 若狭町梅振興ビジョン推進事業の概要に、「出張梅料理教室および実演販売」とあるが、どのようなことを行ったのか。
答 若狭町から京都に講師を派遣し、特産品である梅や葛を活用した料理教室を開催した。また、東京の都市センターホテルで「梅しよゆ」や「梅ジュース」の作り方を実演し、梅の販売を実施した。

▼環境安全課関連

問 新たなゴミ焼却施設の進捗状況は。
答 高浜町和田地区に整備する予定となっており、環境アセスの結果を受けて最終的な合意となる。環境アセスについては、ほぼまとまってきており、10月ごろに地元で報告を行い、その後、今ある高浜町のゴミ焼却施設を解体する予定となっている。
問 有害鳥獣対策事業の嶺南地域有害鳥獣処理施設運営の財源内訳は。
答 嶺南広域行政組合が2,400万円、嶺南5市町が4,129万1千円、若狭町が1,031万8千円を負担している。支出の内訳は、指定管理費が1,880万円、焼却施設負担金が2,463万4千円、大規模修繕費用が3,217万5千円。

▼農林水産課関連

問 賦課徴収費で福井県滞納整理機構に負担金を納めているが、滞納徴収業務はしっかりとできてきているのか。
答 毎年、町民税を含め約50件を滞納整理機構に依頼している。滞納整理ができずに返ってくる分は若干あるが、多く

▼福祉課関連

問 敬老会事業で、1人当たりの必要経費はいくらか。また、敬老会の参加人数は1,229人だが、参加されていない方に何も支出していないのか。
答 各地区の65歳以上の人口で計算すると、1人当たり約1,800円となり、算定した費用を各地域づくり協議会に交付金として支出している。また、参加者とならぬ参加者への対応については、各地域づくり協議会で対応していただいている。

▼パレオ文化課関連

問 福祉・保健総合拠点施設費の施設修繕626万3,816円は、どのような修繕を行ったのか。
答 パレオ若狭内のエアコンや給湯設備、外の遊具の修繕を行った。
問 パレオ若狭
答 移行していく。あかちゃんスマイル事業は、対象者の何%の方に支給されたのか。
答 平成30年度の対象者は107名。その内36名に支給したので、支給率は33.6%。今後、支給申請をされていない方については、案内を徹底する。



パレオ若狭

問 成人保健事業の胃がん検診は、対象者の13.9%しか受診していないのか。
答 受診者数は、実際に町で検診を受診された方の人数であり、国が定めた人口から就業者数を引き、介護保険等を利用している方で、がん検診を受診できないと予測される方を引いた人数で割っている。胃がん検診については、平成28年度から2年に1回の検診とする対策型検診になったので、平成29年度と30年度に受診された人数で受診率を計算している。

▼保健医療課関連

問 認知症予防に關して、これから認知症の方が増加していくということだが、予算的にも年々増えているのか。
答 認知症総合支援事業費として計上しており、主に認知症予防にかかる担当者の人件費や認知症サポーターの養成講座、認知症カフェなどの事業に取り組んでいる。基準額の中で運営していきたいと思っているが、今後、フレイル予防や認知症予防は大切であり、地域と連携しながら進めていきたい。

▼介護保険特別会計関連

問 認知症予防に關して、これから認知症の方が増加していくということだが、予算的にも年々増えているのか。
答 認知症総合支援事業費として計上しており、主に認知症予防にかかる担当者の人件費や認知症サポーターの養成講座、認知症カフェなどの事業に取り組んでいる。基準額の中で運営していきたいと思っているが、今後、フレイル予防や認知症予防は大切であり、地域と連携しながら進めていきたい。



三方診療所

▼簡易水道事業特別会計

問 簡易水道使用料の収入未済額は、前年度に比べて減っているのか。
答 昨年度から、職員が努力して滞納整理業務を行っており、収入未済額は減ってきている。
問 不納欠損は、5年で処理するのか。
答 水道料金は私債権であり、若狭町では、連絡がつかなくなると10年が経過した場合や破産して徴収ができなくなった場合に不納欠損としている。今回は、6件で18万3,362円の不納欠損処理を行った。

▼土地開発事業特別会計関連

問 町が分譲している土地で、未分譲地はあと何区画残っているのか。
答 平成30年度決算では、上瀬の売却済み区画が15区画、未分譲区画が17区画。また、天徳寺の売却済み区画が19区画、未分譲区画が7区画。
問 未分譲地の合計金額は。
答 上瀬が約1億3千万円、天徳寺が約5,400万円。

▼農業集落排水処理事業特別会計関連

問 最速整備構想策定業務委託は、平成30年度で終了していると思うが、今後の計画についての説明は。
答 農業集落排水処理施設についての機能診断調査業務は、平成30年度で終了した。漁業集落排水処理施設や公共下水道処理施設も含め、町全体としての在り方を現在策定しており、時期を見て議会で報告する。

▼農業労働災害共済事業特別会計関連

問 共済賦課金の面積と加入数は。
答 面積は、1,104ヘクタール。516戸の方が加入している。

▼工業用水道事業会計関連

問 給水収益は年間約900万円だが、減価償却費の約2,400万円は確実に必要になるため、約1,500万円の赤字が続くのではないのか。
答 経営としては、収益を上げないとマイナスになっていくが、現金で見るとそれほど変わらない。エイ・ダブリュ工業・若狭の給水量が若干伸びており、AGC若狭化学とフロティンケミカルからも工業用水の相談を受けているので、今後、給水量が増える見込みは若干ある。

【特別会計】

▼後期高齢者医療特別会計関連

問 若狭町から広域連合へ納付する額は、広域連合からの指示で決まるのか。
答 広域連合の事務費の負担金があり、広域連合からの指示で額が決まる。保険料については、町が徴収した額を広域連合へ納付している。

▼直営診療所特別会計関連

問 三方診療所で、薬をもらうまでの時間が長いかかるといった話を聞くが、どのような状況か。
答 事務員1名、看護師1名、医師1名の3名体制で運営をしていた時期があ

▼町営住宅等特別会計関連

問 町営住宅使用料収入未済額で、過年度分101万9,200円、平成30年度分9万3千円とあるが、現在の納入状況は。

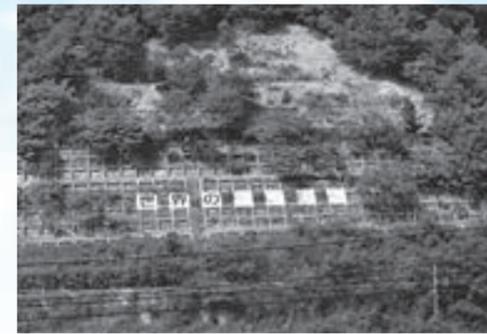
【企業会計】

問 主に、過年度分が残ってきており、平成30年度分については、現在全て納入されている。
答 主に、過年度分が残ってきており、平成30年度分については、現在全て納入されている。

補正予算 一般会計に4億8,762万円を増額補正 令和元年度の総額は100億7,918万円に

主な歳出 (千円単位は切り捨て)

事業内容	補正額
企画一般管理事業(日本農業遺産・年縞のPR看板を設置)	393万円
財政調整基金費(財政調整基金へ積立)	2億7,023万円
医療費適正化等推進事業(福井大学医学部との共同プロジェクトの委託料)	400万円
企業誘致促進事業(企業に対し振興助成金を交付)	3,000万円
除雪対策事業(今冬の除雪に係る委託料、賃借料など)	8,649万円
道路維持修繕事業(町道の修繕、落石防護柵の設置など)	2,000万円
文化財保護事業(文化財の標柱を更新)	66万円



PR 看板設置箇所(若狭三方 IC 正面)



落石防護柵設置箇所(町道10号線)

主な歳入 (千円単位は切り捨て)

◆ 地方交付税	5,929万円	◆ 繰入金	3,000万円
◆ 国庫支出金	328万円	◆ 繰越金	4億2,904万円
◆ 県支出金	2,723万円	◆ 町債	△7,074万円

特別会計・企業会計 (千円単位は切り捨て)

会計区分	補正額	合計額	会計区分	補正額	合計額
国民健康保険	593万円	18億3,034万円	農業者労働災害共済事業	34万円	199万円
後期高齢者医療	23万円	1億9,087万円	漁業集落排水処理事業	8万円	3,837万円
直営診療所	293万円	9,722万円	町営住宅等	735万円	4,109万円
介護保険	5,278万円	19億7,364万円	土地開発事業	1,343万円	6,871万円
簡易水道事業	3,224万円	1億9,143万円	水道事業	613万円	3億5,281万円

常任委員会報告

予算決算常任委員会

本委員会への付託議案は、一般会計補正予算および特別会計補正予算、企業会計補正予算の計13議案。全議案、委員全員の賛成で可決すべきものと決定。

○一般会計補正予算

主な質疑事項

▼政策推進課関連

問 企画一般管理事業の日本農業遺産と年縞の看板整備で、現在設置されている「世界のモノサシ」の看板は撤去するのか。また、文字の色は決まっているのか。
答 文字数が増え2段表記となるので、現状の看板枠も活用して設置する。文字の色については、看板作製業者と相談し、配色を考えたい。

▼観光未来創造課関連

問 里山里海湖ビジネス推進事業で、農家民宿をもっと拡充していったらどうか。
答 若狭町エコ・グリーンツーリズム推進協議会において推進しているが、

農家民宿をされている方からも情報を集め、参入を希望される方がおられれば、積極的に推進していきたい。山村活性化支援交付金事業は3ヶ年の取り組みで、事業概要に「山野草等の薬効成分に着目した活動や商品開発を行う」とあるが、この山野草の種類は何か。

答 熊川で取り組む事業なので、葛の花を考えている。ほかに、ハトムギ・イタドリ・ツルクダミなどがあり、その中から使用できるものを調査することが1年目の取り組みとなる。

問 若狭東高校や公立小浜病院も薬草について取り組んでいるが、連携することは考えていないのか。

答 現在、東京農業大学と連携しているが、近隣で研究をされている高校や病院もあるので、資料等を参考にしながら事業を進めていきたい。

▼歴史文化課関連

問 文化財保護事業の文化財の標柱は、県指定のものについては、県が更新するのか。
答 国指定については、日本遺産の予算

を活用して更新をした。県指定については、「上村家のタブの木」が今回対象となるが、町で更新をさせていただきたい。



上村家のタブの木

▼建設水道課関連

問 道路維持修繕事業の工事請負費2千万円は、どこを施工するのか。
答 集落ヒアリングで要望のあった箇所から、緊急で優先順位の高いところを選定し、オーバーレイによる舗装修繕を行う。また、町道10号線に落石防護柵を設置し、主要幹線道路の区画線を約5キロメートル分、計上している。

問 数年前から、何度も遠敷川の浚渫を実施しているが、上中地域の北川の浚渫は、どのように進んでいるのか。
答 来年度に野木川と北川の合流付近の浚渫を施工する予定と、国土交通省から聞いている。

問 大雨が降れば大変なことになる、北川の堤防も決壊するのではないかと。そのような災害が起こってからは遅いので、浚渫施工が進められるよう何度も要望すべきではないか。

答 通常の維持工事を含め、河川の浚渫については、上流まで施工するよう国土交通省に要望していく。

○特別会計・企業会計補正予算

▼土地開発事業特別会計関連

問 買い戻しの土地の価格は、売買契約が締結した当時と比較してどうか。
答 平成7年には、近傍宅地が1坪10万円、12万円で販売されていた。平成25年には、若狭町が所有する未売却土地について価格の見直しを行い、その当時に比べて70%〜80%になったので、若王子や朝霧の分譲価格を下げている。平成26年の上瀬住宅と平成28年の天徳寺工コ住宅の販売価格は、1坪7万円〜8万円で分譲している。

▼水道事業会計関連

問 井ノ口地係の一般給水受託工事の図面に加入申込者A・Bとあるが、新たに何か建設されるのか。
答 既存の自己水源が悪化したため、新規給水工事を行う。

総務産業建設常任委員会

本委員会への付託議案2件及び、請願1件は、委員全員の賛成で可決すべきものと決定。

○若狭町印鑑条例の一部改正について

住民基本台帳法施行令及び印鑑登録証明事務処理要領の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもので、印鑑登録原票及び印鑑登録証明書への旧氏の記載を可能にすること、男女の別欄の記載を削除するもの。

主な質疑事項

問 これは印鑑条例の一部改正であるが、マイナンバーカードにも影響があるのか。

答 住民票だけでなく、マイナンバーカードへの旧氏の記載も可能としている。

問 マイナンバーカードの発行済みの方で、旧氏の記載を希望された場合、役場窓口で簡単に手続きが出来るのか。

答 役場窓口で機械により、即時に記載することが出来る。

○若狭町水道事業給水条例等の一部改正について

水道法の改正により、指定給水設置工事事業者の指定の有効期限が新たに定め

られ、更新制が導入されることなどに伴い、条例の一部改正するもので、人口減少に伴う水の需要の減少、水道施設の老朽化、深刻化する人材不足等の直面する課題に対応し、水道事業基盤の強化を図るためのもの。

主な質疑事項

問 指定業者数はどれだけで、全て資格を有しているのか。

答 指定業者数は93業者で、全て資格を有している。向こう3年間をかけた更新を求めるものである。

問 水道事業を民間に委託できるが、将来的に若狭町も民間委託するのか。

答 若狭町水道事業経営については、今のところ民間委託は考えていない。

○地方財政の充実・強化を求める意見書採択について意見書の提出に関する請願

現状に見合う、地方財政の確立を政府に求めるもの。

質疑の意見

地方財政は、今後、人口減少等により厳しくなる。陳情書にあるように、地方財政の充実・強化を求めることは、非常に重要だと思つた。

教育厚生常任委員会

本委員会への付託議案は1議案。委員全員の賛成で可決すべきものと決定。

○若狭町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

幼児教育及び保育の無償化に係る子ども・子育て支援法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、条例の改正が必要となるもの。

主な質疑事項

問 10月以降無償化になったとき、副食材料費は保育料から除外するが、国から月額幾らの歳入があるのか。

答 国等から570万円程度、歳入される予定である。

問 他市町の保育所へ子どもを預けた場合、その市町の保育料が若狭町に請求されると思うが、住民税非課税世帯でなかった場合、現行どおり支払うことになるのか。

答 その通りである。例えば、滋賀県の保育園に入った場合、若狭町の住民で、その子どもであるならば、保育料額は、若狭町の保育料で算定し、支払いをする。

問 平成30年度決算で、保育料の不納欠損額が116万7,180円、収入未

済額が112万6千円というのが現状である。滞納をしている方は、無償化の対象になる方ではないのか。しっかりと収入があるのにもかかわらず、納入されていないという方であるのか。滞納者についての分析をし、納入してもらいたい。

答 確かに未納者の大半は、1人親家庭や所得が低い家庭の方であるが、それほど低いとは言えない。10月以降については、保育料が無償化されることで、滞納額が増えることは見込んでいない。これまでの保育料を滞納されている方については、今後も引き続き、収納していただくように声掛け等をする。



9月定例会 議員賛否一覧

議長は、採決に加わりません。
○賛成 ×反対

賛否背景は各質疑事項（P3～5、7～8）をご参照ください。

議員名	採決月日	藤本 武士	熊谷 勳信	渡辺 英朗	辻岡 正和	坂本 豊	今井 富雄	原田 進男	北原 武道	福谷 洋	清水 利一	小堀 信昭	小林 和弘	松本 孝雄	島津 秀樹
若狭町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	8/30	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—
平成30年度若狭町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	9/24	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	—

※欠…欠席

8月30日採決され全員賛成で承認された議案

- 専決処分の承認を求めることについて(令和元年度若狭町一般会計補正予算(第2号))
※若狭町立上中中学校損害賠償請求に係る訴訟費用
- 工事請負契約の締結について(令和元年度若狭町音声告知システム更新事業)

9月24日に採決され全員賛成で認定、可決、採択された議案

- 平成30年度若狭町水道事業会計、若狭町工業用水道事業会計及び若狭町国民健康保険上中診療所事業会計決算の認定について
- 若狭町印鑑条例の一部改正について
- 若狭町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 若狭町水道事業給水条例等の一部改正について
- 令和元年度若狭町一般会計補正予算(第3号)
- 令和元年度若狭町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 令和元年度若狭町後期高齢者医療費特別会計補正予算(第1号)
- 令和元年度若狭町直営診療所特別会計補正予算(第1号)
- 令和元年度若狭町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 令和元年度若狭町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和元年度若狭町農業者労働災害共済事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和元年度若狭町農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和元年度若狭町漁業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和元年度若狭町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和元年度若狭町営住宅等特別会計補正予算(第1号)
- 令和元年度若狭町土地開発事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和元年度若狭町水道事業会計補正予算(第1号)
- 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について
- 地方財政の充実・強化を求める意見書について(発委)

9月24日に異議なく適任としたもの

- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(若狭町横渡 蓮本京子氏)



小堀信昭 議員

フレイル対策と方向性は
地域が主体となった、健康づくり・居場所づくりに取り組む

福祉課長

小堀 フレイルとは、福祉課長 年齢を重ねることに伴い、筋力や認知能力、社会とのつながりといった、心身の活力に低下がみられる状態のこと。

小堀 要介護にならないためには、どのような対応をするのか。

福祉課長

フレイル対応として運動・栄養・社会参加の3つの柱がある。食事はよく噛むように意識することで、食べる力を維持することであり、フレイルサポーターを募り10名が担い手となりフレイル予防の普及に取り込んで参りたい。



熊谷勘信 議員

町の人口減少対策への取り組みは
町長 魅力あるまちづくりを展開していく

熊谷 今後の人口減少対策への特徴のある取り組みは。

町長 魅力あるまちづくりを展開し、若者が活躍できる雰囲気づくりを進め、定住の気運を高めていく。

熊谷 国道162号の道路整備の現在の進捗状況は。

町長 鳥浜地区における道路整備計画の路線については、三方五湖ルートへのアクセス道路として、県において重要道路と位置づけ優先的に取り組んでいただき、現在事業に着手していただいている。



国道162号改良工事実施予定箇所

熊谷 2018年に策定した第2次総合計画での各種の取り組みの中で、人口減少対策は大きな課題であるが、その対策への具体的な政策の内容と実施成果はどうなのか。

町長 今、住んでいる人に住み続けてもらうための婚活イベントや結婚を促進する活動。また、新たに定住してもらう取り組みとして、東京や大阪の移住希望者を対象にしたフェアで、若狭町への移住を呼びかける取り組みを進めている。また、これまでの成果として地域おこし協力隊や空き家を活用しての定住等、172人の定住をいただいている。

熊谷 今までの以上の交通量の増加となっており、危険性も高く地元住民の生活道路として安心して利用出来る道路を早期着手し、県との連携を図っていただきたい。

一般質問

(文責：質問者本人)



河内川ダムに貯まっている水、緊急時には水道用水や工業用水に活用できるか

建設水道課長

原則は不可能
有事の際は関係機関に要請する

農林水産課長

北原 河内川ダムが供用開始になった。本町の水道用水、工業用水、特定かんがい用水は、貯留権が許可され、ダムに貯まっているか。また水利権が許可され、補給(ダム下に放流)されているか。

建設水道課長

水道用水、工業用水は、貯留権の許可を得ており、ダムに貯まっている。しかし、ダムからの放流水を取水・浄水するための浄水場をまだ建設していないので、水利権は許可されておらず、ダムから放流されていない。



北原武道 議員

北原 水道用水と工業用水は、ダムに貯まっているが、ダムから放流されていないので使えない。緊急時(たとえば、何らかの理由で、現在の水源が一時的に使用不能になったというような場合)、ダムに貯まっている水を、ポンプで汲み上げ、タンク車で運ぶなど

して、活用することは可能か。

建設水道課長

取水する権利は許可されていないので、原則できないことになっている。しかし有事の際は関係機関に要請を行う。

原子力防災(避難)訓練について

北原 万一、事故の時、瓜生地区の住民は、どのような手段で避難すると想定されるか。

環境安全課長

約1,700人が自家用車による避難、その車が約560台。瓜生小学校まで歩いて行き、バスで集団避難する人が約110人と想定している。

北原 そういふ状況を踏まえた避難訓練になっているか。

令和元年 12月定例会の日程【会期:12月3日~12月20日】

すべて傍聴できます。上程される議案の件数などの関係で予定が変更になる場合があります。本定例会で扱う請願・陳情の受付は11月25日(月)15時締切予定です。(議会事務局)

12月3日(火)9時 本会議 開会

議案が上程され、直ちに質疑・討論・採決を行う議案もありますが、多くの議案は、審査を常任委員会に付託します。付託議案については、付託すべき常任委員会を決定します。

12月9日(月)9時 本会議 一般質問

理事者に対して議員が自由に質問します。(一般質問は翌日から行政チャンネルで放映されます。)

12月10日(火)9時 総務産業建設常任委員会

付託された議案について質疑・討論・採決を行い、各議案に対する審査の結論を出します。

12月11日(水)9時 教育厚生常任委員会

付託された議案について質疑・討論・採決を行い、各議案に対する審査の結論を出します。

12月12日(木)9時 予算決算常任委員会

付託された議案について質疑・討論・採決を行い、各議案に対する審査の結論を出します。

12月20日(金)9時 本会議 閉会

各常任委員会の委員長が、審査結果を報告します。その後、全議員によって、各議案に対する質疑・討論・採決を行います。



議会の動き



7月22日 小浜市・若狭町・高島市
総合振興協議会総会 (小浜市)



8月6日 小浜市・若狭町
総合振興協議会 (小浜市)



8月7日 嶺南市町議長会定例会 (敦賀市)



8月29日 若狭町重点要望活動 (福井県庁)



編集後記

暑かった夏も終わり、収穫の秋を満喫されていることと思いますが、いかがでしょうか。

秋と言えば、観光の秋ということでは、レインボーラインから望む風景は、最高だと思えます。その山頂公園に、カフェの新設とテラスのリニューアルが、来年の春に完成するということもあり、大変楽しみです。

議会では、11月に「議員と語る会」を開催する運びとなりました。今回発刊の「議会だより」とともに、若狭町議会を身近に感じていただく機会になれば嬉しく思います。

(辻岡正和)

